

令和六年 謹賀新年



福岡県労福協
理事長 藤田 桂三

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、福岡県労福協活動に対しまして温かいご支援・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。また、「福祉は一つ」を合言葉に、すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、それぞれの立場でご奮闘・ご尽力されている仲間の皆さんに、心から敬意を表し感謝申し上げます。

年頭にあたり2つの観点から、労福協の思い、決意を述べさせていただきます。

1点目は、私たちの生活の基盤となる平和・人権・環境の課題についてです。

世界各地での戦争や紛争、市民弾圧などによって、今この時も世界の平和が脅かされています。人々の生活と人権を踏みにじる行為、平和や秩序、地球環境を武力によって破壊する暴挙は断じて許されません。

「平和あってこそこの暮らし、人権、労働者福祉」という観点で、今後も核兵器廃絶と世界の恒久平和、ジェンダー平等と多様性を基本に、多くの仲間と連帯し活動していきます。また、世界各地で自然災害が頻発化・激甚化しています。環境問題についてはSDGsの視点をもって、労福協としても出来ることを着実に実践していきます。

2点目は、私たちをとりまく状況と活動にあたっての基本的な考え方です。

コロナ禍の影響に加え急激な物価高も相まって、貧困や格差が拡がり、社会の分断や持続性の危機が深刻化するなど将来不安の状況が続いています。今ほど、公助の重要性はもとより、共助の大切さ、労働者自主福祉活動の意義と役割が高まっていることはありません。

活動にあたっては、今まで以上に働く仲間や生活者、地域に寄り添い、活動の原点である人と人との繋がりを大切にし、支えあい助け合う組織として、積極的に活動を展開していく決意です。

厳しい状況下での諸活動となりますが、誰一人取り残されることのない社会、包摂的で持続可能な社会をめざし、「働く仲間・生活者・地域の笑顔のために、未来の子どもたちの平和と安心、希望のために」ともに手を携え頑張りましょう。

結びに、会員・ご家族の皆様のご健勝とご活躍、今後の労福協活動への積極的なご参画をお願いし、新年のご挨拶といたします。



福岡県知事
服部 誠太郎

新年あけましておめでとうございます。

福岡県労働者福祉協議会の皆さまには、日ごろから労働者福祉の向上にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、7月の梅雨前線豪雨で県内各地に甚大な被害が発生し、被災された皆さまの生活支援など、被災地の一日も早い復旧・復興に全力で取り組みました。

また、エネルギー価格や物価の高騰対策を行うとともに、福岡県を成長・発展させていくため、「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」などの新たな取り組みをスタートさせました。

今年は辰年です。県民の皆さまの命と健康、生活を守ることを第一に、「1,000億円の人づくり」、「県内GDP20兆円への挑戦」、「安全・安心で活力ある社会づくり」に取り組み、天をかけ昇る竜のように勢いよく、福岡県の成長・発展を加速前進させてまいります。

「誰もが安心してたくさんの笑顔で暮らせる福岡県」の実現に向け、全力で取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

新しい年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。



労働者福祉中央協議会
会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は国民生活を一変させ、格差や貧困、社会の分断が深刻化し、コロナ禍以前から抱えていた日本社会の脆弱性が次々と浮き彫りになりました。感染症法上の位置付けが5類に移行され社会経済活動の回復は進みつつありますが、ただ単にコロナ前の状態に戻すのではなく、更により良い社会とすべく、公的セーフティネットの強化を継続して求めていく必要があります。中央労福協では、コロナ禍で生活に困難を抱える人たちやその相談・支援活動を応援するための「ろうふくエール基金」を継続してこられた事は、ひとえに皆さまのご協力があったことです。心より感謝申し上げます。

さて、中央労福協では「高等教育費の漸進的無償化と負担軽減」に向けて、この間、取り組みを進めてきましたが、今後、国民的合意形成をどのようにはかるのか、もう一段レベルアップした運動の展開が求められています。また、地域共生社会を構築する取り組みとして、地方労福協を中心として取り組まれております、ライフサポートセンターにおける活動の重要性は、これまでと変わることはありません。

しかし、昨今の物価高の影響は生活者を直撃しており、子ども食堂に代表されるように、地域に寄り添った直接的な支援を行う活動が今後ますます必要とされます。労働者福祉運動と共助の輪の拡大に向け、労働団体・事業団体・地方労福協が、それぞれの立場で取り組んでいくことが求められます。中央労福協は引き続き、その結節点の役割を果たすとともに、社会的連帯経済（SSE）の担い手として、NPOや市民団体、社会的企業とのつながりを深めていきます。

労福協の理念にあります、すべての働く人の幸せと豊かさをめざした、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会に向け、これまで以上に皆さまのお力をお寄せいただくことをお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



九州労働金庫福岡県本部
本部長 西村 芳樹

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新年を迎えられたとお喜びを申し上げます。

昨年はロシアのウクライナ侵攻に端を発した世界経済の混乱から、様々な物、サービスの価格が上昇し消費者物価指数も3%を超える上昇が1年以上続いている状況で、低所得者や年金生活者の生活に大きな影響を与えてきました。そのような中、春闘においては連合が3.6%の賃上げが実施できたという報告がありますが、賃上げされた多くは大企業や組織された組合員の賃上げが行われたことに過ぎず、中小企業で働く人や非正規で働く人のほとんどは賃上げが行われていない状況となっています。私たち労福協とその加盟団体である労金はその多くの働く人たちに対して何ができるのかを労金の理念に照らして考えて行動することが必要であると考えます。

一方で福岡で労金が産声を上げて71年を迎えた昨年11月6日に新本店ビルが竣工を迎えグランドオープンしました。旧本店ビルは45年の歴史に幕を閉じ前面がガラス張り前庭に緑を多くあしらえた、開放感あふれるスタイリッシュなビルへと生まれ変わりました。

今後、労金の理念で変えてはいけないことを守るために、変えないといけないことは勇気をもって変えていき、今後10年20年先の後輩たちにしっかりとした労金運動を継承していく事を目指していきます。

最後になりますが2024年が加盟組織の皆様とその御家族にとって良い年になることを祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。



こくみん共済 coop
福岡推進本部
本部長 矢田 信浩

新年明けましておめでとうございます。

日頃よりこくみん共済 coop の労済運動・事業にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

昨年は、2022年2月からのロシアのウクライナ侵攻、10月からの中東での紛争など不安定な世界情勢が続く中、地球温暖化が原因と考えられる地球規模での異常気象が多発するなど、依然として、私たちの生活を脅かす出来事が続く一年となりました。

このような中、2023年11月1日に福岡労済は創立60周年を迎え、11月3日に記念式典・祝賀会を行いました。これまでのご支援に対し改めて厚く御礼申し上げますとともに、2023年5月にリリースした「こくみん共済 coop 公式アプリ」や組合員の皆さまの暮らしをサポートできるサービス「こくみんLifeサポート」を活用し、「新しいたすけあい」の創造・実践を進めていくことで、より皆さまから信頼・選択していただける組織をめざして、役職員一丸となって努力を続けてまいります。

引き続き格別のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

組合員・協力団体の皆さまにとって、本年が素晴らしい一年となりますことをご祈念申しあげ、年頭のご挨拶といたします。



福岡県生活協同組合連合会
会長理事 堤 新吾

新年あけましておめでとうございます。
日頃より、福岡県生協連並びに会員生協の事業・活動へのご理解、ご協力に心より感謝いたします。

コロナ禍も落ち着きウィズコロナの中、経済活動もコロナ前に戻りつつある昨今ですが、長引く円安やウクライナ侵攻、また人口減少に伴う人件費上昇などの影響もあり、これまでに経験の無いような急激な物価上昇が続いています。

そのような中、貧困や格差の拡大が明らかとなり、社会とくらしへの不安が一層強まっています。全国の生協は、さまざまな事業活動やフードバンクなどの地域貢献活動を推進し、日々のくらしのインフラの一つとして組合員に寄り添った取り組みを今後も進めて参ります。

私たち生協は、地域に根差した助け合いの組織として、さまざまな団体との連携も進めています。協同組合ふくおかネットワーク推進協議会を通じて、協同組合間連携事例を増やししながら、安心してくらしを地域社会づくりにも貢献していきます。

平和な世の中であることがこれからも継続できるよう平和であることを希求しながら、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けて会員生協や関係団体と共に事業と活動の両面から、さらに取り組みを広げていきます。

今年一年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念いたします。



北九州総合労働会館
理事長 清田 博巳

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、北九州総合労働会館（通称：真鶴会館）の運営に対しまして事業団体・労働団体をはじめ会員の皆様方から格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、年末・年始におかれましても、昼夜を問わず業務に精励されています皆様方に対しまして、心より敬意を表します。

さて、私たちの生活と暮らしや働き方に大きな影響を与えてきた新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に感染法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ5類に変更されました。変更後、物価高騰のマイナス要因はありますが、社会経済活動も活気づいてきており、コロナ以前の日常生活に戻りつつあります。

このような中、会館の利用状況においてコロナ禍の時期と比較すると、カルチャー講座・貸し会議室・貸しホールの利用者数も回復してきております。今後の課題としては、1階中ホールと2階会議室の利用促進の宣伝強化、及び3階空室への新規テナントの入居者の募集、ならびに一層の経費削減に努めることが求められます。引き続き、関係各所と連携を図り各会員団体のご協力を得ながら役員一同、健全運営に向けて努力して参ります。本年も、真鶴会館に対しましてご理解・ご協力をお願い致します。

結びになりますが、真鶴会館に入居頂いておりますテナントの皆さまと会員ならびにご家族の皆さまのご健勝・ご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。





一般社団法人
福岡県労働者福祉協議会 役職員

職員	監事	理事	専務理事	副理事長	副理事長	理事長
小森田 紀子	松本 竹生	若松 直美	原田 登喜雄	平田 貢一郎	樋口 孝司	金本 賢治
						遠藤 禎幸
						中山 啓一
						清田 博
						堤 新
						日高 靖
						神尾 浩
						志 敏
						藤 吉 眞 二
						矢 田 信 浩
						西 村 芳 樹
						藤 田 桂 三

本年もよろしく
 お願い申し上げます

令和六年 元旦

一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2階

TEL 092-263-3141 FAX 092-263-3121

[ホームページ] <http://fukuoka.rofuku.net/> [メールアドレス] roufuku@h8.dion.ne.jp

ろふく協 NEWS
 vol.188

発行 2024年1月4日
 発行人 藤田 桂三
 編集 藤吉 眞二